

こんな先生いるよ!

「数学的表現に収まる  
ことが知的好奇心も  
満たしてくれる」

いえだまさし  
**家田雅志**  
先生

経営学部  
ビジネスエレクトロニクス学科  
講師



理論物理から数理ファイナンスへ

大学や大学院では理論物理を学んだ上で、現在の研究に移られたそうです

現在は経営学部で数理ファイナンスの研究をしています。大学院の修士課程までは物理学をやっていました。所属していた研究室は非平衡統計物理が専門で、数学科スタイルの数学がよく使われていました。実は学部2年生のときにひどい成績をとったことがあって、このスタイルの数学はあまり好きではなかったのですが、やむなしと思ってもう一度きちっと数学をやってみることにしました。

やり出してみるとハマってしまつて、もう数学的表現にきちんと収まらないと落ち着かない。定義と定理をきちんと分けて考えることが自分の中に強くあり、何が最初に決め事としてあるのか、どこまでがあなたの主張なのか、そしてその先に何が分かるようになったのかはつきりさせる、そういうものを正確に分けて考えることが自分の研究スタイルになっていきました。

専門として取り組んでいる数理ファイナンスも考え方は理論物理と同様です。基本になるルールに従うモデルを方程式で記述して、そこからどんなことが言えるのか考えていくのです。興味のあるテーマはたくさんあるのですが、基本は「確率制御」という最も良い手の打ち方を考える枠組みを使って研究を進めています。最近投資開始時に計算した最も良いはずの投資戦略が、投資途中で再計算するとそうではなくなつてしまう「時間非整合性」という問題に注

目しています。

大型バイクのツーリングで心を解放

細かく複雑な研究での疲れを癒せるのは、どんな時ですか

一つは大型バイクでのツーリングですね。現在はホンダの750ccクラスに乗っています。バイクは社会人になって初めて購入したもので、大人になってからの楽しみといった感じです。普段は一人で出かけますが、車体自体が大きいので、サイドに大型のカバンも装着しているため、無理な行動は取らないようにしています。いわゆるスリ抜けは絶対にやりません。

最近では都内から銚子、九十九里方面への日帰りツーリングをしました。少し前になりますが、長野方面に2泊3日で行ったのも思い出に残りました。ツーリングの写真をみると三國峠や西伊豆スカイラインなどが残っていますが、こういう場所を走っていく爽快感がいいですね。

もう一つ、自分は知的好奇心がかなり強いようで、最近「歴史」に興味を感じます。報道などで世界各地の紛争などが取り上げられますが、その原因について自分が無知であると気づいたことが発端です。そこで、ちょっと大げさかもしれませんが西洋史の開始地点であるメソポタミア文明まで遡ってみることにしました。学校の教科書もよく作られています。読みやすく、興味をひく書籍がたくさん出ているので、研究の合間にそんなものをよく読むようになりました。

太田正人(ジェイクリエイト)

【写真左】 大型バイクでのツーリングが心を癒してくれる



【写真中】 学会で訪れたオーストラリアのシドニー港近くにある珍しいオブジェ



【写真右】 趣味の料理で作った自家製ベーコンと枝豆のカルボナーラ

